

受動喫煙防止に関するアンケートのお願い

「NPO 法人禁煙みやぎ」理事長 山本蒔子

仙台市議選候補者各位

仙台市議会議員立候補の皆様には、仙台市民の健康増進やそのための環境改善に対して熱意ある積極的取り組みをしていただいていることと拝察致します。

私たち「NPO 法人禁煙みやぎ」は、宮城県の医師、歯科医師、医療従事者や一般市民により構成され、タバコの害の啓発、防煙教育の実施や禁煙治療の普及などの禁煙推進活動を行っています。

このたび、候補者のすべての皆様に、仙台市の公共の場における「喫煙」についてのご意見をいただきたく、お願い致します。

お答えいただいた内容は全員分の回答内容を、変えることなく、「禁煙みやぎ」のホームページ上に公開し、仙台市民の皆様にもパンフレットとしてご覧いただいたり、報道機関に情報提供する、ということを計画しておりますので、ご了承いただきますよう、宜しくお願い致します。

ご回答は、各質問の回答の番号に○印をつけていただき、ご芳名を記入いただいた上で、同封の封筒にてご返送下さい。

A. 改正健康増進法(以下、受動喫煙防止法とします)が2020年に全面的に施行されて、仙台市における「望まれない受動喫煙の防止」は進んだと思いますか？

- 1. 全く進んでいない
- 2. 少し進んだが不十分
- 3. かなり進んだ
- 4. もう十分なほど進んだ

B. 仙台市における「望まれない受動喫煙の防止」が遅れていると考えるのはどんな点ですか(複数回答可)

- 1. 公共施設の建物内での喫煙
- 2. 公共交通機関での喫煙
- 3. 職場内での喫煙
- 4. 路上・公園での喫煙
- 5. 飲食店での喫煙
- 6. 遅れているところはない

C. 喫煙により、肺がんや脳卒中、虚血性心疾患などさまざまな病気のリスクが高くなることは明白で、厚生労働省も国民に健康のために禁煙を勧めています。地方行政として市民の健康のために禁煙を勧めるための方策として とくに重要と考える施策は何ですか(複数回答可)

- 1. たばこ代の値上げや販売の制限
- 2. 自治体による、個人に対する禁煙のための補助(禁煙外来の費用等)
- 3. 受動喫煙防止の法や条例による、公共の場所における禁煙の推進

